

月別の平均ピークレベルと最大ピークレベルを図N 6 に示す。

測定期間内における平均ピークレベル及び最大ピークレベルは、4局中いずれも与根局で最も高く、また、糸満局の最大ピークレベルを除いて、軍用機のほうが高い値を示した。

月別の最大ピークレベルでは、与根局の8月に最大値104.9dBを記録し、軍用機・民間機識別機能によると、軍用機による騒音であることが示された。

(6) 民間機・軍用機別の曜日別の騒音発生回数について

民間機・軍用機別の平均騒音発生回数を曜日別に表N 3 及び図N 7 に示す。

民間機では曜日による差が比較的小さいが、軍用機では平日に多く、土曜日及び日曜日に少ない傾向にあった。

(7) 時間帯別の月平均騒音発生回数について

0時から7時(N1)、7時から19時(N2)、19時から22時(N3)、22時から24時(N4)の各時間帯における月平均騒音発生回数(回/月)を表N 4 に示す。

騒音の発生は、7時～19時の時間帯に全体の約80%を占めているが、深夜22時～早朝7時の時間帯において、与根局で月平均434.7回/月と最も多かった。

(8) 環境基準値の超過日数について

測定日数と環境基準値を超過した日数を表N 5 及び図N 8 に示す。

環境基準値を超過した日数の割合は、与根局で87.1%(365日中318日)と最も高く、次に具志局で13.7%(365日中50日)であった。

(9) WECPNLと1日あたりの騒音発生回数の年度別推移について

WECPNLと1日あたりの騒音発生回数(回/日)の推移を図N 9 に示す。

WECPNLは近年、浄化センター及び与根局で増加傾向、具志局で横ばい、糸満局において減少傾向で推移しており、与根局では毎年、環境基準値を超過していた。また、1日あたりの騒音発生回数は、平成24年度から全体的に増加傾向にある。

(10)  $L_{night}$  (※P.81参照) と月別の夜間早朝騒音発生回数について

測定期間内平均 $L_{night}$ を表N 1 に示す。また、月別の $L_{night}$ 及び夜間早朝(22時から翌朝7時まで)の騒音発生回数を図N10に示す。

測定期間内平均 $L_{night}$ は、4局中与根局で最大値51dBであった。月別 $L_{night}$ の最大値は、与根局の4月、5月、8月で52dBであった。

月別の夜間早朝騒音発生回数(22時～7時)は、与根局で10月に477回/月と最も多かった。

### 3 まとめ

(1) 環境基準値を超過した測定局は、前年度と同じ4測定局中1局(与根局)であ